

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 8 日

仕事の内容	公民館五館合同事業			
担当部署・課長名	中央公民館	事業	係	課長名 尾又 恵子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 生涯学習の充実

(総合計画書 35 ページ)

予算名	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業	1	中央公民館事業
-----	---	----	-----	---	---	-------	---	---	------	----	---	---------

  

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →市の人口(4月1日現在)	
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 地域で、学習の場に参加できる。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) →五館合同事業参加者
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
	①夏休みみんなでつくる遊空間 ②市民大学(前期) ③市民大学(後期) ④ここがふるさと・東大和の魅力発見発信し隊 ⑤公民館のつどい ⑥五館合同交流会 ⑦こうみんかんだよりの発行	①夏休みみんなでつくる遊空間開催回数 ②市民大学(前期)開催回数 ③市民大学(後期)開催回数 →④ここがふるさと・東大和の魅力発見発信し隊開催回数 ⑤公民館のつどい開催回数 ⑥五館合同交流会開催回数 ⑦こうみんかんだよりの発行

  

2 指標の推移	対象指標	①の数値	単位	人	平成25年度実績	84,671	平成26年度実績	85,382	平成27年度実績	86,092	平成28年度目標		平成29年度目標
	成果指標	②の数値	人	3,108	2,797	2,569					2,700	2,800	
	目 標	②の目標値											
	活動指標	③の数値	回		① 31 ② 25 ③ ④ ⑤ 8 ⑥ 2 ⑦ 6	① 34 ② 25 ③ ④ ⑤ 4 ⑥ 2 ⑦ 6	① 31 ② 12 ③ 12 ④ 29 ⑤ 1 ⑥ 2 ⑦ 6						

  

3 経費	事業費	円	各館経費に含まれる	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	円		
	一般財源	円		
	特定財源	円		
	(うち受益者負担)	円		
	人件費(目安)	円		
所要人数(再任用以外)	人			
所要人数(再任用)	人			
職員人件費(再任用以外)	円			
職員人件費(再任用)	円			
事業費+人件費	円	0		

  

この仕事における市の裁量 市の裁量は大さい

  

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	①平成16年 子どもの居場所作り ②③平成25年 市の活性化 ④平成27年 町おこし ⑤昭和59年 公民館活用学習 ⑥平成14年 市内五館利用者の情報交換・交流・共通課題解決
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	①スタッフが当初の500人から1000人を越えるようになった。②③内容を試行中。④1年目。 ⑤実行委員が集まらず平成28年廃止。⑥平成25年まで年3回、平成26年から年2回。

  

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	①②(③)④については議会も注目している。 ⑤自主的な実行委員応募がなく、関心がなくなった。 ⑥回数増、結論を出すことへの希望も出された。
-------------	--	---

仕 事 の 内 容	公民館五館合同事業			
担当部署・課長名	中央公民館	0	事業	係 課長名 尾又 恵子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組んだ	取組手法	②③⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 協働事業は、増加傾向にある。少しずつ自主化への道をつけていき、新規事業取り組みへの余裕を作ることも必要				
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。 ①参加者が多いので、スタッフを確実に確保することが課題。 ②③手法の固定化。 ④市民の自主活動化。 ⑤廃止に対する反響。 ⑥交流会からの前進。			
	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 市民活動自主化へのモチベーションを高めるため、職員が助言・支援を行う。			
8 今 後 の 方 向 性	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 職員ファシリテーター力などの向上に取り組む。			
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
	成 果	成果を向上させる。	経 費	仕事の経費は維持する。
9 上半期終了時点の状況(平成28年9月末記入)				
10 平成28年度に向けた方向性(平成28年9月末記入)				

市の裁量は無い  
市の裁量は大きい  
市の裁量は小さい  
ドロップダウンリストから選択してください。

仕事の経費は削減する。  
仕事の経費は維持する。  
仕事の経費を増加させる。  
ドロップダウンリストから選択してください。  
成果を向上させる。  
成果を維持する。

成果を縮小していく。  
ドロップダウンリストから選択してください。

取り組んだ  
取り組みは無い  
ドロップダウンリストから選択してください。